田原小だより

第７０１号
令和６年１月３１日
台東区立田原小学校
校長　宇塚　華子

大谷翔平選手のグローブと有言実行！

副校長　地平　憲司

右写真は、大谷選手から寄贈された話題の「グローブ」です。しばらくは昇降口に置いて、子供たちには自由に触ってもらう予定です。グローブと一緒に大谷選手の「手紙」が添えられていました。その一節を紹介します。「・・・私はこのグローブが、私たちの次の世代に夢を与え、勇気づけるシンボルとなることを望んでいます。・・・野球しようぜ。　大谷翔平」

大谷選手の現在地については、誰もが知るところですが、私が「素晴らし過ぎる・・・」と感銘を受けたのは、大谷選手が高校生の頃に作ったといわれる「目標達成シート」です。「ドラ１・８球団」という目標を掲げ、「体づくり」など８つの項目それぞれに８つの具体策を記したものです。項目の中には「人間性」というものもあり、そこには、「感謝」「思いやり」「礼儀」といったことが綴られていました。正直、「こんなことを考えられる高校生がいるのか？」と思いながら、当時、高校生だった長男に大谷シートを見せながら尋ねると、「だから大谷は世界に一人の世界一なんだよ。」と真顔で答えたのを覚えています。そして、当時の目標を遥かに超えるメジャーリーグでの偉業達成も大谷選手にとっては、「有言実行」の一コマなのかも知れません。日本中の子供たちに届けられた「グローブ・野球しようぜ」＝日本人全員に届けられた「夢・勇気をもとうぜ」なのだと改めて思いました。だから、大人も子供も頑張らないといけませんね。

さて、大谷選手の「有言実行」ではないですが、今、学校は、今年度のゴール（６年生は集大成の卒業式）に向けて日々前進すると同時に、次年度の「教育計画」の作成に着手しています。この「教育計画」というのは、田原小学校が築いてきた長年の実績を核にしながら、都区教育委員会からの指導・要請、地域・保護者の皆様の評価・要望、そして、現在の子供たちの実態を鑑みながら作成・改善していくものです。「目指す児童像」として、「**(た)** 確かな伸びを実感しながら、仲間と共に自己実現する児童」、それを担う「目指す教師像」として、「**(わ)** 分け隔てなく児童に愛情を注ぎ、志を高くもつ教師」を掲げ、そのための目標および具体策を様々な角度から練り上げているところです。そして、一つでも多くの「有言実行」が、田原っ子の成長につながります。地域・保護者の皆様には、今後も変わらず、「希望を共にする **（ら）** 羅針盤」の役割をよろしくお願いいたします。

◇◆◇生活指導部より◆◇◆

生活指導部　田中　百恵

１月の生活指導月目標は「気持ちのよいあいさつと返事をしよう」でした。朝はあいさつ隊の元気な声が響き、廊下や階段、教室で自分からあいさつができる児童の姿をたくさん見かけました。今後も、あいさつが響く学校、自分からあいさつができる田原っ子を目指していきます。ご家庭でも励ましていただければと思います。

さて、寒さが本番の２月となりました。今月は、「寒さに負けない体をつくろう」が目標です。すすんで校庭や体育室で遊ぶことや手洗い、うがいを心がけ、衣服の調節をして生活できるよう指導していきます。